

# 2024年度 シラバス(授業内容)

## 昼間部 2年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

### 1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

### 2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

## 2024 年度昼間部 2 年 鉄道科鉄道・交通サービスコース

### 進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	7	8	6	6	27
	専門科目	18	21	21	18	78
合 計		25	29	27	24	105

各期全単位を取得すること。

### 履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究 II	講	2	30	
	キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン II	演	5	75	キャリアデザイン III	講	1	15	キャリアデザイン III	講	1	15	
	ビジネスコミュニケーション I	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講	1	15	ビジネスコミュニケーション III	講	1	15	
	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策 II	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発 II	演	1	15	
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15	
	パソコン	演	1	15										国際交流	演	1	15
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90	
必修科目	鉄道基礎 I	講	1	30	鉄道基礎 II	講	1	15	鉄道基礎 III	講	1	15	鉄旅	講	2	30	
	鉄道業務実務 I	演	2	30	鉄道業務実務 II	演	2	30	鉄道業務実務 III	演	2	30	鉄道業務実務 III	演	2	30	
	鉄道イベントプロモーション I	演	2	30	鉄道イベントプロモーション II	演	2	30	鉄道イベントプロモーション III	演	2	30	鉄道イベントプロモーション IV	演	2	30	
	硬筆・書写検定対策 I	講	1	15	硬筆・書写検定対策 II	講	1	15	鉄道CS接客演習	講	1	15					
	観光業界ガイド I	講	1	15	観光業界ガイド II	講	1	15	中国語 I	講	2	30	中国語 II	講	2	30	
	鉄道受験対策 I	講	1	15	鉄道受験対策 II	講	1	15	手話講座 I	講	1	15	手話講座 II	講	1	15	
	バリアフリー	演	1	15	サービス接遇 I	演	1	15	サービス接遇 II	演	1	15					
	時刻表実務 I	講	1	30	時刻表実務 II	講	1	30	時刻表実務 III	講	1	30	時刻表実務 IV	講	1	15	
					パソコンスキル I	演	2	30	パソコンスキル II	演	2	30	パソコンスキル III	演	1	15	
					パソコンスキル II	演	2	30	デジタルスキル III	演	2	30	デジタルスキル IV	演	2	30	
					Station English I	講	1	15	Station English II	講	1	15	Station English III	講	1	15	
					鉄道業界研究 I	講	1	15	鉄道業界研究 II	講	1	15	インプロビゼーション	演	1	15	
					国内観光資源 I	講	1	30	国内観光資源 II	講	1	30	国内観光資源 III	講	1	30	
					国内観光資源 II	講	1	30	国内観光資源 III	講	1	30	社会人準備講座	講	1	15	
					国内管理者対策 I	講	2	30	国内管理者対策 II	講	2	30	国内管理者対策 III	講	2	45	
				自己表現 I	演	1	15	自己表現 II	演	1	15	自己表現 III	演	1	15		
				鉄道CS対策	演	1	15	ステーションエクササイズ I	演	1	30	ステーションエクササイズ II	演	1	30		
				小計		18	330	小計		21	345	小計		21	375		
				1年前期 計		25	435	1年後期 計		29	465	2年前期 計		27	465		
				1年 計		54	900	2年 計		51	870	2年後期 計		24	405		
				2年間 合計		105	1770										

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	スタートアップセミナー	就職ガイダンス	オリエンテーション	中村学園祭
	オリエンテーション	中村学園祭	業界視察	
	スポーツ大会	業界視察		
	業界視察	観光地研修 鉄道研修旅行		

# 共通科目

## シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。				
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	<p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究とは</li> <li>・テーマの決め方</li> <li>・レポート作成における調査研究方法</li> </ul> <p>【調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査計画の作成</li> <li>・調査研究の進捗に合わせた個別指導</li> <li>・実施内容の確認</li> </ul> <p>【レポートのまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート構成(序論、章、まとめ)</li> <li>・レポート内容(目的、方法、結果、考察)</li> <li>・文献資料を参考し作成する</li> </ul> <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントの作成</li> <li>・サマリーの作成</li> <li>・台本の作成</li> <li>・プレゼンテーション練習と本番での発表</li> </ul>				
成績評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。</li> <li>・以下の提出物は全て提出すること。</li> </ul> <p>【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料</p>				
成績評価 基準	<p>A: 出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B: 出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	就職担当			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	<p>1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。</p> <p>就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。</p> <p>後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。</p>			
到達目標	<p>1、内定及び進路決定を得ること。</p> <p>2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。</p> <p>3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。</p>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	MY CAREER NOTEⅢ(ベネッセ iキャリア) 1 年次購入済み			
授業計画	<p>【就職活動実践】</p> <p>就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己PR・志望動機作成、履歴書・ES 作成、面接演習、GP ワーク演習、小論文演習、SPI 対策と模擬試験演習、企業講演</p> <p>【内定後】</p> <p>お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理</p> <p>【ビジネスコミュニケーション】</p> <p>ビジネスメール作成、受付と接客対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習</p>			
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	井部・橋本・担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的：観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要：1年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 (1年次購入済み)				
授業計画	<p>【接遇】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換</li> <li>・電話応対</li> <li>・上座、下座</li> </ul> <p>【一般常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き)</li> <li>・ビジネスメール</li> <li>・ビジネス用語</li> </ul> <p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金、税、保険</li> <li>・組織(役職)と部門</li> <li>・慶弔</li> <li>・その他社会人として必要な知識</li> </ul> <p>ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

## 学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	住友 大我				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に約20年の実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心に脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス・集中への反射を形成する、ストレス耐性を高める、モチベーションを高める、発想力を高める、ポジティブシンキングを身に付けるなどの内容を、脳の働き(脳力)にもとづいて理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>メンタルトレーニング</b>              思い方の練習(期待感と満足感を高める)              段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成)              自律訓練法(リラックスした集中への反射形成)</li> <li>・ <b>ビジョントレーニング</b>              情報処理能力の向上(脳活ドリル、他)              イメージ力、思考力の向上</li> <li>・ <b>脳力を発揮するための生活習慣</b>              睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力など)              運動、食事に関連する内容、他</li> <li>・ <b>その他</b>              自己分析(エゴグラム)              メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他)              能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)</li> </ul>				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	<b>【試験】</b> A: 80点/ %以上、B: 70点/ %以上、C: 50点/ %以上、D: 50点/ %未満 <b>【出席率】</b> A: 100%、B: 80%以上、C: 60%以上、D: 60%未満 <b>【平常点】</b> A: 優、B: 良、C: 可、D: 不可				

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施する予定です。  
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。  
なお、受検料は発生しません。

## シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>【My Hometown】 Asking about &amp; describing places, asking for &amp; giving suggestions, asking for &amp; giving directions.</p> <p>【Shopping】 Prices &amp; features, bargaining, frequency</p> <p>【Food】 Quantities, needs, eating habits, describing food</p> <p>【Past &amp; Future】 Talking &amp; asking about past events, introducing &amp; reacting to news, future plans</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

Message to students:

Don't be shy! Do your best!  
Use this great chance to practice speaking as much as possible in a small group.



鉄道・交通サービスコース

専門科目

## シラバス(授業計画)

科目名	鉄道基礎Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	菅 亮介			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。		
授業概要	鉄道を運行する仕組み、鉄道信号、保安装置の解説、電化区間、車両のしくみなどの学習 運転専門用語、鉄道専門用語を集中して学習します。 鉄道について、趣味的な知識ではなく業務的な知識を学びます。			
到達目標	保安装置、車両等の種類・運転用語の意味と理解・現場についての知識の習得。 鉄道で働く上で知っておくべき最低限必要な知識・用語を習得。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	よくわかる最新鉄道の技術と仕組み(1 年次購入済み)			
授業計画	<p>「よくわかる最新鉄道の技術と仕組み」から、鉄道に関する基礎的な知識を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道の基本について</li> <li>・ 車両について</li> <li>・ 鉄道の運転について</li> <li>・ 駅について</li> <li>・ きっぷについて</li> <li>・ 電気・信号設備について</li> <li>・ 線路について</li> <li>・ 車両基地について</li> <li>・ これからの鉄道について</li> <li>・ 世界の鉄道</li> </ul>			
成績評価 方法	評価試験は筆記試験で 100 点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。			
成績評価 基準	A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

### 学生へのメッセージ

趣味的な鉄道知識ではなく、実務的な知識を身に付けていきましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	鉄道業務実務Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間
担当	響 丈				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	安心・安全・正確が当たり前の日本の鉄道ですが、それは鉄道掛員の地道な業務で成り立っています。駅掛員、車掌の業務、運転士の業務の肝とは何なのか、授業で知識を習得していただきます。また、学校内の施設を活用して、アナウンスや基本動作などを体験し、鉄道の仕事の本質を知っていただきます。				
到達目標	鉄道会社に就職するために、鉄道会社に必要とされるような人材とはどんな人なのかを理解し、体現する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	プリント よくわかる最新鉄道の技術と仕組み				
授業計画	<p>【駅の改札業務】 乗車券の種類とその精算方法 乗車券の精算実務 お客さまへの案内業務 首都圏の鉄道路線について</p> <p>【駅と乗務員の連携】 乗務員の仕事と駅の仕事の違い 乗務員と駅掛員との連携作業</p> <p>【運転取扱実施基準の理解】 運転取扱実施基準を読み解く</p> <p>【鉄道の基礎を学ぶ】 鉄道の技術と仕組み</p>				
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で 100 点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

## 学生へのメッセージ

鉄道で働くこととはどういうことなのか、鉄道会社に入るためにはどんな考え方・イメージを持てばよいのかをしっかりと理解し、鉄道会社への就職を目指しましょう！

## シラバス(授業計画)

科目名	鉄道イベントプロモーションⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	各鉄道会社では、自分の会社を利用していただくための様々な鉄道イベントを企画し、行っている。各イベントを研究し、自分たちで鉄道イベントを考え、鉄道会社や旅行会社へイベントを提案する。必要な知識の習得とコミュニケーション能力・経営の視点を学ぶ。				
到達目標	プレゼンテーション能力を身につける。 各会社さまと協力し、実際にイベントを開催する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【鉄道会社が行う様々なイベントを知る。また、そのイベントから得られる効果を知る。】 鉄道会社が行う様々なイベントを知り、その効果を考える。 その中で対外的な経済効果や集客について学ぶ。</p> <p>【実際のイベントに参加する。】 各グループを作り、自分たちで参加したいイベントや興味のある鉄道会社の企画に参加してくる。</p> <p>【イベントを研究・企画する。】 グループごとに分かれ、プレゼンテーションに向けて様々なイベントを研究・企画する。</p> <p>【イベントの提案準備・発表】 自分たちでイベント企画を作成し、プレゼンの準備を行う。</p> <p>【イベントを開催する】 鉄道会社、イベント会社と協力し、イベントを開催する。</p>				
成績評価 方法	授業内でのプレゼンテーションの内容や、取り組みを点数化し成績評価する。				
成績評価 基準	A: 授業理解度90%以上、出席率 90%以上、平常点良好 B: 授業理解度70%以上、出席率 70%以上、平常点良好 C: 授業理解度 40%以上、出席率 50%以上、平常点普通 D: 授業理解度 40%未満、出席率 50%未満、平常点不良				

## 学生へのメッセージ

この授業はひとりひとりのアイデアと、チームワークを必要とします。ひとりひとりが手抜きをせず、チームで協力して取り組みましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	鉄道CS接客演習			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	2年 前期 : 15 時間
担当	響 丈				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	<p>鉄道業界は第一に「安全」を追求しています。少子化やコロナによる旅行控えや、テレビ電話(会議)の普及等による出張控えなどの影響により、電車・列車自体での乗車率は減少傾向にあるようです。そのため、各社、乗車率を上げるというよりも、観光(旅行)や駅ナカ等、運輸業以外のサービス業・流通業・不動産業といった多角化経営にさらに力を入れています。各社とも「安全」を土台としたうえで、お客さま満足を高めるためのサービスに取り組んでいます。</p> <p>この授業では、鉄道業界のサービスを中心とした顧客対応やクレーム処理をケーススタディで学んでいきます。</p>				
到達目標	<p>鉄道業界全般において、利益確保のための工夫を検討し、安全・混雑緩和対策の一層の充実やCSレベルの向上、事故や災害の発生時に、迅速で適切な対応を取るためのリスクマネジメントやチーム力の強化を目的とします。</p>				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	プリントを配布				
授業計画	<p><b>【基礎知識】</b>  CSとは？(なぜCSが必要なのか)  お客さまが求めるCS  鉄道会社の顧客対応(各社での取り組みの違い)  クレームとは？(なぜクレームが起きるのか)  クレームとコンプレイン  敬語・ビジネス用語の基本</p> <p><b>【CS対策】</b>  CSの追求(お客様に満足していただく為に、何をどのように提供していくのかを考え、それを達成するための仕組みを作りあげる活動を考える)</p> <p><b>【クレーム対応】</b>  クレーム対応を具体的に例題を挙げ、正しい対応を考える。</p> <p><b>【改札業務】</b>  乗車券の種類や精算方法を知り、改札での精算・案内業務を体験・実習する。</p>				
成績評価方法	<p>期末に学科・実技の評価試験を行う。  出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、期末試験の結果と合算して評価する。</p>				
成績評価基準	<p>A: 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優  B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良  C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可  D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

## 学生へのメッセージ

現在の鉄道会社にとってCSは、どの部門においてもかなり重要な施策になっています。  
今のうちにCSについて学び、考えていきましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期、後期	単位数	前期: 2単位 後期: 2単位	時間数	前期: 30時間 後期: 30時間
担当	張 翼飛				
	実務経験: 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この授業ははじめて中国語を学習する学生を対象とする、発音の習得を重視しつつ、簡単な言葉や表現を身につける、初歩的な中国語でコミュニケーションを取れることを目指しています。				
到達目標	基本的な会話を身に付け、鉄道業界の現場で想定される状況に応じた対応ができるレベルを目標とします。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	前期 《中国語初歩の初歩》 高橋書店 後期 プリントを配布				
授業計画	<p>前期:</p> <p>【中国語の概要】 基本、母音と子音の練習および四声の練習。 出会いと別れの挨拶 お礼とお詫びの言葉 数字の言い方</p> <p>【基本文法】 動詞述語文を学習 形容詞述語文を学習 名詞述語文を学習 文の組立て方を学習</p> <p>後期 駅構内、近隣の中国語案内 新幹線車内販売時使う中国語センテンス 車内アナウンスを使う中国語センテンス 電車遅延時使う中国語センテンス クレーム対応時使う中国語センテンス 身体の不自由な方への中国語対応 中国語テスト対策</p>				
成績評価 方法	授業内にてテストを実施 ※業界人として相応しくない身嗜みの者は、平常点不可とする。 試験結果、平常点、出席率による総合評価とする。				
成績評価 基準	<p>A: 授業内期末試験 90%以上、出席率 80%以上、平常点良好</p> <p>B: 授業内期末試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点良好</p> <p>C: 授業内期末試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点普通</p> <p>D: 授業内期末試験 59%以下、出席率 60%未満、平常点不良</p>				

### 学生へのメッセージ

今後増加するインバウンド需要に合わせ、鉄道会社では中国語で接客に力を入れています。駅スタッフ、車掌等の鉄道業界への就職後に使用する機会も多いと思いますので一緒に頑張りましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	飯塚 佳代				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。指文字と手話技能検定6・5級の単語学習を中心にこなす。また、聴覚障がいの基礎知識について学び、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話などの方法でコミュニケーションがとれるようにする。				
到達目標	1年次においては手話検定5級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定5級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級(日本能率協会マネジメントセンター)				
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ロールプレイなどで日常会話や接客手話を学習する。また検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 ろう者のゲストを呼び時、実際に手話を使って交流を行う</p> <p>【聴覚障がいの基礎知識】 聴覚障害者とは、日本手話と日本語対応手話、聴覚障害者数、コミュニケーションの多様性とその実践、聴覚障害者と法律・条例、耳の構造と補聴器、さまざまなマーク、ろう文化とは</p>				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

### 学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	サービス接遇Ⅱ		科目区分	専門科目																
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	演習																
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数																
担当	担当講師																			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。																		
授業概要	<p>1年次に学習した内容を、知識や情報としてではなく実践的に社会で使えるようにしていきます。 接客やサービス業に関するテーマについて、クラス全体またはグループに分かれてディスカッションやディベートをして、その結果を発表し合います。 他人の意見を感じ良く聴き、自分の意見を分かり易く話す訓練を繰り返すことで、あらゆる形態のサービス接遇に欠かせない総合的なコミュニケーション力を身に付けることができます。</p>																			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「サービスマインド」と「サービススキル」の相違点を理解した上で、実践的な接客スキルを身につける</li> <li>●アサーティブな接客に欠かせない、話す力(語彙力・表現力・説明力)と聴く力(理解力・傾聴力)を身につける</li> </ul>																			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:																			
教科書教材	適宜プリント等を配布																			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年次の復習 (グループワークから「学び」と「気づき」) メラビアン<sup>①</sup>の法則を参照しながら、グループメンバーの良かった点と自分自身の反省点を具体的にあげる             <ul style="list-style-type: none"> <li>①視覚情報 (表情・視線・ジェスチャー・姿勢や座り方など)</li> <li>②聴覚情報 (声のトーンや大きさ・話すスピード・など)</li> <li>③内容 (言葉遣い・情報やデータ・説明の仕方や分かりやすさなど)</li> </ul> </li> <li>●グループディスカッション／ディベート             <ul style="list-style-type: none"> <li>①旅行や旅客に関するテーマのディスカッション／ディベートと発表</li> <li>②今日の MVP(話し手としての視覚情報・聴覚情報・話した内容 または聴き手として)</li> <li>②講師から、印象的な言語情報や非言語情報に関するフィードバック</li> </ul> </li> </ul>																			
成績評価方法	評価試験・課題・出席状況・平常点の総合評価とする																			
成績評価基準	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">A: 評価試験 90%以上、</td> <td style="width: 33%;">出席率 90%以上、</td> <td style="width: 33%;">授業参加意欲・演習貢献度</td> <td style="width: 15%;">秀</td> </tr> <tr> <td>B: 評価試験 80%以上、</td> <td>出席率 80%以上、</td> <td>授業参加意欲・演習貢献度</td> <td>優・良</td> </tr> <tr> <td>C: 評価試験 70%以上、</td> <td>出席率 70%以上、</td> <td>授業参加意欲・演習貢献度</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>D: 評価試験 70%未満、</td> <td>出席率 70%未満、</td> <td>授業参加意欲・演習貢献度</td> <td>不可</td> </tr> </table>				A: 評価試験 90%以上、	出席率 90%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	秀	B: 評価試験 80%以上、	出席率 80%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	優・良	C: 評価試験 70%以上、	出席率 70%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	可	D: 評価試験 70%未満、	出席率 70%未満、	授業参加意欲・演習貢献度	不可
A: 評価試験 90%以上、	出席率 90%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	秀																	
B: 評価試験 80%以上、	出席率 80%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	優・良																	
C: 評価試験 70%以上、	出席率 70%以上、	授業参加意欲・演習貢献度	可																	
D: 評価試験 70%未満、	出席率 70%未満、	授業参加意欲・演習貢献度	不可																	

### 学生へのメッセージ



## シラバス(授業計画)

科目名	時刻表実務Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：15時間
担当	菅 亮介			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌として実務経験あり。		
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の使用方法を習得していきます。1年次に学び磨いてきた時刻表の技術を、より実践的に現場で通用するレベルへ向けてさらに推し進めていきます。ⅣではJR以外の部分(私鉄)にも触れていきます。			
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	JR時刻表 (交通新聞社)			
授業計画	<p>【今年度の改正点】 路線、列車の改廃について 運賃料金制度の改定について</p> <p>【時刻表の実践的な技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・区間外乗車、乗継割引、団体割引 ・特定都市、IC乗車券、乗り越し</p> <p>【時刻表のより実践的な技術習得】 乗継早見表と運賃料金早見表の実務的技術習得 ・新幹線と在来線特急、快速 ・新幹線、特急の普通車指定席・自由席・グリーン車 ・通過連絡運輸</p> <p>【時刻表の実務者レベルの技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・新幹線と寝台特急列車の比較 ・四国内の特急列車の乗り継ぎ ・JR・バス・航空機の比較</p>			
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。			
成績評価 基準	A: 授業理解度 90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

## 学生へのメッセージ

時刻表の使い方を学び、お客さまへ素早く適切な提案ができるようになります。

## シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅡ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 1単位	時間数	前期 : 30時間 後期 : 15時間
担当	宮崎 愛子				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり			
授業概要	1年時の学習を踏まえて実践力を修得しましょう。Word では様々な書式設定を使ったビジネス文書作成、Excel では基本関数およびグラフによるデータの視覚化、データ分析力をマスターすることが目標です。また、PowerPoint では、分かり易く効果的な資料作成を行い、実際にプレゼンテーションに挑戦します。				
到達目標	PC操作の基本を理解し、Word・Excel・PowerPoint の基本操作を修得します。 また、昨今頻繁に利用されるようになったクラウドストレージサービスや、オンラインミーティングサービス、Google スプレッドシート等の Web アプリケーションシステムの基本的な使い方も学びましょう。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験・PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験				
教科書 教材	・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版)				
授業計画	<p>【 PC 基本操作の確認 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリケーションの立ち上げや、基本的なファイル操作</li> <li>・キーボードを利用した入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正等)</li> <li>・ホームポジションを意識したタッチタイピングの練習</li> </ul> <p>【 Word 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章入力(ベタ打ち)と併せて、文字装飾を行う</li> <li>・ワードアート、図形描画、テキストボックス等を利用した表現力のある文書ファイルを作成する</li> <li>・ビジネス文書の基礎と仕組みを学び、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、表作成等を使いこなす</li> </ul> <p>【 Excel 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ入力の基礎を学ぶ</li> <li>・数式を用いた計算をはじめ、基本的な関数を利用した表計算機能を使いデータファイルを作成する</li> <li>・関数を利用して作成したデータをグラフへ変換し、視覚的分析の方法を学ぶ</li> </ul> <p>【 PowerPoint 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なスライドを扱い、図や表、画像を用いたプレゼンテーション資料を作成する</li> <li>・ノート機能、リハーサル機能を利用し、効率的な発表を行うノウハウを学ぶ</li> <li>・テーマに合わせて、一人一人プレゼン資料を作成し、実際に発表する</li> </ul> <p>【 その他 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・zoom を使った web 会議の基本知識を学ぶ (ビデオ操作、ミュート、チャット機能、ホワイトボード機能・ブレイクアウトルームなど)</li> <li>・OneDrive・Google スプレッドシート等の Web アプリケーションシステムの概要を理解する</li> </ul>				
成績評価 方法	授業理解度は課題作成進捗と評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 70%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 60%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 60%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

### 学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	デジタルスキルⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	長谷川 慶太				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	イベント業界・ブライダル業界で SNS を運用した集客を担当			
授業概要	実際に SNS アカウントを運用して集客に結び付くような授業 動画作成・写真撮影等の技術向上				
到達目標	・SNS 運用に対する技術向上。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	<p>【著作権】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS 投稿時の注意点や危険性を学びます</li> </ul> <p>【動画撮影・作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に動画を撮影し、編集、作成まで行います</li> </ul> <p>【写真撮影・編集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に動画を撮影し、編集、作成まで行います</li> </ul> <p>【SNS 投稿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通年を通して SNS 投稿を行い集客の難しさ、楽しさを学びます。</li> </ul>				
成績評価 方法	出席状況、小テストによる理解度判断。提出物、授業態度、参加意欲も評価。				
成績評価 基準	<p>A: 出席率 90%以上、実技試験(理解度)80%以上、提出物・平常点 優</p> <p>B: 出席率 80%以上、実技試験(理解度)70%以上、提出物・平常点 良</p> <p>C: 出席率 60%以上、実技試験(理解度)60%以上、提出物・平常点 可</p> <p>D: 出席率 60%未満、実技試験(理解度)60%未満、提出物未提出、平常点 不可</p>				

### 学生へのメッセージ

どこの企業でも SNS を運用して集客するのが普通になってきました。  
個人で運用している時と、企業で運用しなければいけない時の違いを身に付けましょう

## シラバス(授業計画)

科目名	Station English II・III			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	Native English teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Continue the development of English skills for Railway station situation and further build confidence in dealing with native English speakers。				
到達目標	テキスト Station English IIとIIIの Conversation を暗記し、それぞれの窓口担当スタッフのパートを、スムーズに会話することができる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Ticket sales, greetings and JR pass explanation</li> <li>➢ Future reservations (months and time)</li> <li>➢ Discussing seat availability</li> <li>➢ Getting travel requirement details</li> <li>➢ Giving fees (options for payment)</li> <li>➢ Discussing ticket validity</li> <li>➢ Describing tickets</li> <li>➢ Dealing with problems</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Recommending popular spots</li> <li>➢ Explaining popularity of places</li> <li>➢ Explaining modes of transport to places and time taken</li> <li>➢ Telling where places are in relation to other places</li> <li>➢ Recommending places for specific people</li> <li>➢ Talking about Mount Fuji</li> <li>➢ Recommending souvenirs</li> <li>➢ Shopping recommendations</li> <li>➢ Introducing places</li> <li>➢ Talking about specific etiquette (Japanese hot springs/ Japanese inns, etc.)</li> </ul> <p style="text-align: right;">Preparation for oral test</p>				
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, in class attitude and effort.				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

### 学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	鉄道業界研究Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	菅 亮介				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌として実務経験あり。			
授業概要	<p>・各事故を題材に研究し、それがなぜ起きたのかやどうすべきだったのかを、自分の今の立場や将来なり得る立場を想定し、様々な視点で物事を考え、将来の現場業務に生かす。 また、グループワークを通じ、「相手に伝える」という勉強にもなる。</p>				
到達目標	今回学ぶ各事故についての内容把握、調べた内容を発表する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	別途、プリントを配布する。				
授業計画	<p><b>【題材】</b>          題材①: 脱線事故ケース①          題材②: 脱線事故ケース②          題材③: 衝突事故ケース③</p> <p><b>【上記題材について】</b>          ① 映像・動画等で主な概要等を知る          ② 概要等について個人でまとめる          ③ 各自のまとめを用い、ディスカッションしながら模造紙に壁新聞形式でまとめる          ④ 各班の発表</p> <p><b>【具体的に】</b>          ・誰が原因で事故が発生したのか          ・どうすれば防ぐことができたのか          ・自分が当事者だったらどうしていたか          など、日頃はあまり考えない所をグループワークを通じ、学んでいく。</p>				
成績評価 方法	授業内でのプレゼンテーションの内容や、取り組みを点数化し成績評価する。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

いつも当たり前利用している鉄道が、どのようにして出来て来たのかを学ぶとともに、鉄道の仕事のシビアさを知り、それを人に伝えられるようになりましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	国内観光資源Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 :1 単位	時間数
担当	松川 信也			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。		
授業概要	<p>1年次で学習した国内の観光地情報の応用と知識の再定着を目的とし、当授業では、以下の2本立てで「旅を楽しむ手段」としての幅広い知識を身につける。</p> <p>I・観光地情報の知識再定着・拡充として以下のジャンル別学習</p> <p>① 湖沼・滝・鍾乳洞&lt;自然景観&gt;</p> <p>② 神社仏閣&lt;文化&gt;</p> <p>③ その他の主要観光地</p> <p>II・国内の旅を楽しむ応用材料として以下のテーマ学習</p> <p>①「日本の有名駅弁」…駅弁の楽しみ方と実際の有名駅弁を学習</p> <p>②「日本神話のふるさと」…古事記・日本書紀に出て来る出雲神話や日本創世神話とその舞台となった場所を近辺の観光地とともに学習</p> <p>③「日本のパワースポット」…勝負運、金運、縁結びなど、パワースポットと言われる場所とその近隣の観光地とともに学習</p>			
到達目標	主たる国内観光地情報を説明できる。また上記3つの応用地理テーマ(駅弁・日本神話のふるさと・パワースポット)の主たる内容を理解し、国内旅を楽しむ手段を身につける。			
検定資格	なし			
教科書教材	1年次購入済のもの(「国内旅行地理ベーシック 300+α」、「旅に出たくなる地図日本」)			
授業計画	<p>I. 日本の有名駅弁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の有名駅弁をDVDなどの映像を使って学習。</li> <li>・その駅弁の販売されている地域の特性や文化なども学習。</li> </ul> <p>II. 日本神話のふるさと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古事記の「日本創世」～「ヤマトタケル」までのストーリーを理解。「マンガ古事記」やDVDを利用する。</li> <li>・それらの舞台となっている場所を把握し、結果そこが観光地となった所以や、関連観光地の知識を習得する。</li> </ul> <p>III. 日本のパワースポット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・俗にいう「パワースポット」を「武運」「金運」「縁結び」の観点より整理。</li> <li>・それらの具体的場所を把握し、併せて周辺観光地も学習。</li> </ul> <p>IV.(上記I～Ⅲと並行授業)上記概要に記載のジャンルについて、教科書主体でプリント・小テストで知識を定着させる。</p>			
成績評価方法	各パート終了ごとに小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いなので注意。期末評価試験も実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>			

## 学生へのメッセージ

2年前期迄の個々の観光知識習得、とは観点を換え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数
担当	立石 智之/担当講師			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行会社にて国内海外実務の経験あり。		
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関・国内航空の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。授業内では国内旅行実務に沿った JR 運賃料金の計算などの基礎内容を学習しつつ、過去の問題やプリントで確認していきます。また、毎年間違えやすい問題や勘違いしやすい内容を繰り返し学習し本番までに問題に慣れていきます。			
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 国内旅行業務取扱管理者試験			
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社) 「国内運賃・料金」(JTB総研) 「約款・その他各種運送約款」(JTB総研)			
授業計画	<p>【JR運賃の基本原則】 JR各社について 幹線と地方交通線について 運賃の異なる会社間について 通過連絡運輸、連続運賃について</p> <p>【JR運賃計算の特例】【各種割引運賃】 特定区間、特定都市発着の運賃について 往復割引、学生割引について 団体割引運賃について</p> <p>【JR料金システム】 JR料金の基本的な考え方について 新幹線の特急料金について・在来線の特急料金について 特急料金の変動について 山形・秋田新幹線の料金について</p> <p>【その他のJR営業規則】 有効期間、払い戻し手数料について</p> <p>【その他業種の各種運賃料金】 貸し切りバス運賃料金について フェリー運賃料金について 宿泊料金について 国内航空運賃料金について</p>			
成績評価 方法	授業内で小テスト実施、授業理解度は全ての小テストと評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する			
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	ステーションエクササイズⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	北原 大輔			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	スポーツインストラクターとして実務経験あり。		
授業概要	仕事で最低限必要な体力を身に着ける。健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	<p>【健康と体力】【筋トレⅠ】【「投げる」球技スポーツ】【ウォーキング、ランニング】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルールの理解と実践) ウォーキング、ランニングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング】【持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ】【運動と安全】【体力の測定と評価】 前期より負荷を上げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B: 授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C: 授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D: 授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

## 学生へのメッセージ

--



## シラバス(授業計画)

科目名	鉄旅			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期: 2単位	時間数	後期: 30時間
担当	中山 健也				
	実務経験: 有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	昨今の鉄道業界は、ただ「電車に乗る」だけでなくなっています。駅の先の観光地や目的を考えながら旅行企画を考える授業(Station for Passenger/Tourism)で鉄道科ならではの新しい旅行企画を作り、グループや個人で発表し実際に旅行してみましょう。きっと新しい発見がありますよ。				
到達目標	グループワークを基本として、商品としての「旅行」を作成することにより基礎を学びます。また人前で自分たちの企画を発表することにより自主性や相手の立場に立った行動(お客様目線)を理解し、業界で働く上での基礎とします。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する				
授業計画	<p>【企画造成】</p> <p>授業の概要説明と進め方          テーマ作成に当たっての注意          ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明          グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議          打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定          決定したツアーテーマでの行程表作成          各グループのプレゼン内容の検討、再構成          パワーポイントの作成、企画発表準備          プレゼンシミュレーション、資料作成          発表用パワーポイント作成と、シナリオ作成</p> <p>【現地学習】</p> <p>代表で選ばれたグループのツアーに実際に行きます。          手配、添乗員の動き等も学びます。</p>				
成績評価 方法	授業への取り組み及び確認事項(授業理解度)と出席率、平常点すべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

### 学生へのメッセージ

自分たちでプランを作り、実際に現地に足を運びます。楽しんでプランニングをしましょう！

## シラバス(授業計画)

科目名	インプロビゼーション		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	響 丈			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	ボイストレーナーとして企業研修など実務経験あり。		
授業概要	インプロビゼーションとは、即興のことをいいます。 社会に出ると、その場で考え即座に行動しなければならないことが多々あります。 そのために、テキストに従って学ぶ通常の学習ではなく、やりかたを知らないことをやってのけることにチャレンジしたり、即興力をつけるトレーニングを行います。			
到達目標	失敗してもやり直せるさというある意味での気楽さや、失敗だと思ったことでも上手に使えるば失敗は失敗でなくなるというタフさを身につける。			
検定資格	なし			
教科書 教材	プリントを配布			
授業計画	<p>【インプロゲーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前呼びゲーム</li> <li>・Oh balls</li> <li>・1文字だけゲーム</li> <li>・はい、そうなんですゲーム</li> <li>・音ボール</li> <li>・ピン！ボン！パン！</li> <li>・シンクロ手拍子 etc</li> </ul> <p>【エチュード演劇】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらすじもセリフもない状態で即興で芝居をする。</li> </ul>			
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度90%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

### 学生へのメッセージ

即興力を鍛えて、頭の回転力をつけましょう！

## シラバス(授業計画)

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期: 1単位	時間数
担当	立石 智之			
	実務経験: 有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	これから社会人として活躍するために、身につけておかなければならない最低限の常識やマナー、言葉遣いについて学びます。 社会に出て恥ずかしい思いをしないよう事前準備をしっかりと行いましょう。			
到達目標	社会人として求められる最低限の常識、マナーや言葉遣いを実践できることを目標とする			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する			
授業計画	<p>【社会人としての心構え 基本マナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人と学生の違いを考える</li> <li>・新卒で働く意義とは</li> <li>・あいさつ 仕事に対する姿勢</li> <li>・周囲とのコミュニケーション SNS サービスの怖さ</li> </ul> <p>【社会人としての常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ</li> <li>・電話の対応(かけ方、出方、取りつぎ方、切り方)</li> </ul> <p>【社会人としての言葉遣い、社交文章】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使い方</li> <li>・ビジネス文書の書き方、ビジネスメールの書き方、会社で使うビジネス用語</li> </ul> <p>【お金についての基本情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を稼ぐ、使う、貯める</li> <li>・税金について、円/ドル相場と株のしくみ</li> </ul> <p>【社会人講和】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩社会人からの実体験を交えた講和</li> </ul>			
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

## 学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	自己表現Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	ボイストレーナーとして企業研修など実務経験あり。			
授業概要	入社試験の面接を突破するためには、自分自身が思っていること、持っている熱意をきちんと伝えることが重要です。ところが、それをうまくできる人はなかなかいません。自分自身をきちんと表現し、伝える技術を学びます。				
到達目標	入社試験及び入社後の社会人生活の際に、自身の思っていることをきちんと伝えられるようになる。				
検定資格	なし				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	<p>【ボイストレーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えるとは</li> <li>・腹式呼吸</li> <li>・口の開け方</li> <li>・発声練習</li> </ul> <p>【日本語の基本】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝わる話し方</li> <li>・抑揚のつけ方</li> <li>・表情のつけ方</li> </ul> <p>【実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿読み</li> <li>・面接練習</li> </ul> <p>【インプロビゼーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の殻を破る</li> <li>・自主性を持って行動する。</li> <li>・機転の利く考え方を学ぶ。</li> <li>・恥ずかしさを取る。</li> <li>・失敗を恐れずにトライすることに慣れる。</li> </ul>				
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で100点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度90%以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度70%以上、出席率70%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

伝え方を学んで、自信をもって面接に臨みましょう！

## シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策補講		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
	後期：60時間			
担当	立石 智之/松川 信也/担当講師			
	実務経験：有・無	立石:旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。 松川:元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。 担当講師:旅行会社にて国内海外実務の経験あり。		
授業概要	「国内旅行業務取扱管理者」試験(9月実施)に向けて、4月中に受験の意思を確認し、その後試験までの4か月の特別プログラムを組み各科目別に授業を行います。放課後や夏季休暇中を利用し基礎内容を復習しつつ、過去の問題やプリントで細かく確認していきます。 学習項目としては「旅行業法」「旅行業約款」「国内旅行実務」に基づき、法律や地理、JR運賃料金などを時間割ごとに学習していきます。1年に一度しか受験できない国家資格合格に向けて万全の態勢で臨みましょう!			
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験の合格			
検定資格	なし・必修・任意 名称:国内旅行業務取扱管理者試験(選択した学生のみ)			
教科書 教材	「旅行業法およびこれに基づく命令」(JTB総研) ※その他・1年時に授業で使用した教科書を使用します。			
授業計画	<p>【旅行業法】 授業内容を基に知識の確認を行います。 内容:申請書の登録事項、各種書面の交付、広告の表示方法 標識について(過去問を使用します) 各回に行った模試の解答及び解説</p> <p>【旅行業約款】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 内容:契約書面、確定書面、旅行者・旅行業者の解除権 旅程保証、特別保証規定(過去問を使用します) 各回に行った模試の解答及び解説</p> <p>【国内旅行実務】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 地理:自然景観、温泉・祭り、日本文化 実務:運賃料金の算出(基本・早見表)、グリーン料金・寝台料金 在来線・新幹線の運賃料金、乗継割引、払い戻し 有効期間、割引運賃、特定区間、連続運賃 各回に行った模試の解答及び解説</p> <p>【模擬試験】</p>			
成績評価 方法	小テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	【選択】企業実習			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	2単位	時間数	60時間
担当	企業及び職員				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	各企業現場指導者より			
授業概要	観光業界及び接客業における各業種、飲食、遊戯、販売、誘導の企業実習にて実施する。				
到達目標	実習内で習得した接客技術や知識を実際の観光業界で活かす。 自己評価と実習生に対して企業側評価を行い、観光業界へすすむにあたり学生へのフィードバックを行う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>①観光施設補助 ・観光施設の受付、案内等</p> <p>②飲食施設実習 ・飲食運搬、レジ、接客業務 ・調理補助、食材の発注 ・施設のご案内、電話応対</p> <p>③遊戯施設実習 ・遊戯施設の施設点検、安全管理、施設の運航補助 ・チケット、年齢、身長制限の確認、接客業務 ・施設のご案内、電話応対</p> <p>④販売施設実習 ・商品の補充、レジ、接客業務 ・施設のご案内、電話応対</p> <p>⑤その他 ・就職を検討する各業界の実習における業務研修</p>				
成績評価 方法	実習時間及び実習期間による実習評価				
成績評価 基準	R:実習時間 60 時間以上、尚且つ実習評価が標準以上 D:実習時間 60 時間未満				

## 学生へのメッセージ

実習で学んだ経験を今後の学習・就職に活かすようにしてもらいたいです。